

温かいメッセージを届けよう

倉敷市立多津美中学校 第2学年



1 教科等 学級活動

内容(2)ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

2 題材設定の理由

情報化社会が進む近年、SNSは我々の生活において欠かせない存在となっており、SNSでのコミュニケーションの場も増加している。それによって、SNS上のトラブルも顕在化し、SNSを使う上での道徳性が求められている。SNSでのトラブルは、文字だけで交わされる会話による誤解や、その場にいないため相手の表情が見えない故に感情が伝わりにくいというインターネットの特性から始まる。そのため本時では、相手との認識の違いを意識した対応に加え、相手の立場も考えて、どのようにコミュニケーションを取ればよいのかを考えさせたい。

まず、事前指導では、自他のよさを尊重したよりよい人間関係を育む活動(対面)を数時間かけて行った。その上で本時では、非対面であるSNS上でのトラブルというマイナス面だけでなく、SNSを使うことによって、いつでもどこでも気軽にメッセージのやり取りができ、励ましたり喜ばせたりすることができるというプラス面を合わせて、その場にいない相手とよりよいコミュニケーションを取るにはどうすればよいのかということを考える場を設ける。さらに、本校で取り組んでいるPBISの活動とも関連させて、相手を思いやる温かい雰囲気を醸成する。相手の表情が見えないからこそ、自分の思いを伝える際には、相手の気持ちを想像することが大切であるという重要性を学ばせたい。さらに、SNSでのコミュニケーションは日常生活の延長線上にあることに気付かせ、日常生活においても相手を尊重した言動を意識し、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てたい。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
SNSの使い方を通じて、よりよいコミュニケーションには、自分も相手も大切にしたい表現をすることが必要であることを理解することができる。	その場にいない相手とのコミュニケーションでも相手を尊重した言動を意識し、周囲の人とのよりよい人間関係につながる関わり方を考えることができる。	その場にいない相手とのコミュニケーションでも相手を尊重した言動を意識し、周囲の人とよりよい人間関係を築こうとしている。

4 事前の指導

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
アンガーマネジメント 『みんなの怒りスイッチを探せ』	自分や友達の怒りのスイッチを知ることで、よりよい人間関係を築くことができるようにする。	人によって怒りの温度が違うことに気づくことができる。 【思考・判断・表現】(観察・ワークシート)
アサーション 『3つの表現』	自分も相手も大切にするアサーティブな自己表現をすることで、よりよい人間関係を築くことができるようにする。	アサーティブな自己表現を理解し、自分も相手も大切にしたい自己表現を行うことができる。【知識・技能】(観察・ワークシート)

5 本時（本実践）と人権教育

適切なコミュニケーションについて考え、自他を尊重しようとする意欲や態度を育てる。
 （価値的・態度的側面）
 よりよい集団として活動するための適切なコミュニケーションを実践することができる。
 （技能的側面）

6 本時の目標

他者と意見を交流することで、対面でも非対面でも自分も相手も温かい気持ちになる
 コミュニケーションをとる方法について考え、理解することができる。

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと・・・★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
〈導入〉 1 それぞれの場面でSNSでのメッセージのやりとりを考える。 <班>	○「相手・場面・状況」を具体的に示すことで、自分事として考えることができるようにする。 ○タブレットを使い、実際に班でメッセージを送り合い、交流できるようにする。 【設定場面】班ごとに設定を決める。 ①同じ部活動のグループ ②仲よしクラスメイトのグループ	
温かい メッセージを届けるために必要なことを考えよう		
〈展開〉 2 相手を思いやるメッセージの例を提示し、本時のめあてをつかみ、再考する。	○具体的なやりとりについて考えることで、「相手・場面・状況」を意識することができるようにする。 ・相手がお年寄りだから ・小さな子どもが送ったメールだから ○背景にある「相手・場面・状況」を示しながら考えることができるよう、価値づけする。 ○めあての空欄(温かい)を示すことで、班で考えたメッセージのやりとりが、適切であるかということについて再度見直し、考えることができるようにする。	・その場にいない相手とのコミュニケーションでも相手を尊重した言動を意識し、周囲の人とのよりよい人間関係について表現することができる。【思考・判断・表現】（観察）
3 班ごとに発表し、全体で共有する。	○なぜ、そのようなやりとりとなったのかという理由もあわせて班ごとに発表させることで、思考過程を明確にし、他の班からの価値づけができるようにする。 ・何を意識して送りましたか。 ・温かいメッセージとは。 ★各班で考えたやりとりを全体で共有することで、それぞれのメッセージのやりとりの良い点について考えることができるように示す。	・その場にいない相手とのコミュニケーションでも相手を尊重した言動を意識し、よりよい人間関係を築こうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】（ワークシート・観察）

4 アンケート結果を聞く。 〈終末〉 5 本時のまとめをワークシートに記入する。	★実際のやりとりを発表させ、各自で意識したことをもとにしながら、よりよいコミュニケーションの取り方について確認する。 ○生徒のアンケート結果より、うれしくなったり、温かい気持ちになったりしたエピソードを紹介し、SNSのプラス面を確認できるようにする。 ○各自で、自分が考えた本時のまとめをワークシートに記入し、共有することで本時の学習を確認し、今後の生活に生かせるようにする。 ★活動を通して気付いた、よりよいコミュニケーションについて確認する。	・よりよいコミュニケーションには、自他を大切にしたい表現をすることが必要であることを理解することができる。【知識・技能】 (ワークシート)
相手の気持ちを想像しながらメッセージを送ることでよりよい人間関係を築くことができる		
6 振り返りをタブレットに入力する。	○大切だと思ったことなどをフォームで入力させ、テキストマイニングを利用することで、視覚的に一斉に表示して、みんなで共有することができるようにする。 ○自分の思いを伝える際には、相手の気持ちを想像しながら、丁寧な文章の作成、適切な絵文字やスタンプを使用することで、お互いに気持ちのよいコミュニケーションを取ることができることに気づかせる。 ・相手を思いやる温かいメッセージは、自分も温かい気持ちになる。 ・SNSは今後の生活には必要不可欠。自分と相手のためによりよい使い方をしたい。	



< 導入 >

スライド 1

メッセージを届けよう

スライド 2

メッセージを送り合ってみよう 1・2・3班

【相手】

①同じ部活動の同級生グループチャット

【設定場面】

バスケ部の同級生のグループチャットがあります。
試合の翌日にやりとりするSNSメッセージを考えよう。

スライド 3

メッセージを送り合ってみよう 4・5・6班

【相手】

②仲良しのクラスメイトのグループチャット

【設定場面】

同じクラスで仲良しのグループチャットがあります。
テストの点数が悪くて落ち込んでいる時にやりとりするSNSメッセージを考えよう。

スライド 4

メッセージを送り合ってみよう

《やり方》

①クラスルーム（自分のクラス）を開く。

②ストリームにある決まったグループの欄。でやりとりの続きを考える。

※自分はそのグループチャットの一員として仮定する。

※記号や絵文字も使用して良い。

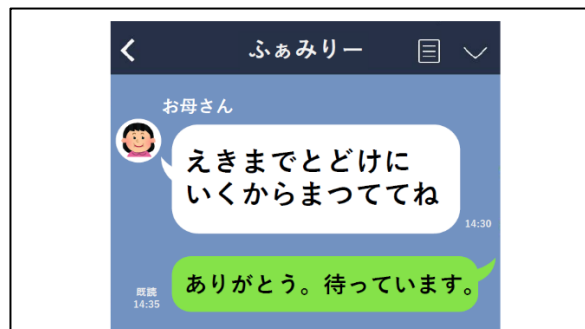
※一人1回以上はメッセージを送ること。

< 展開 >

スライド 5

次の画像は、SNSでのやりとりです。
何を思いますか？

スライド 6



スライド 7

《エピソード》
私の母は、耳が聞こえません。
耳の聞こえない母が、初めて私に送ってくれたメッセージです。
母と電話で会話することはできないため、突然の待ち合わせを決めるのが難しかった私たち。
SNSでのやりとりをするようになってからは、どこにいても会話ができるようになり、母と私の距離を縮めてくれました。
本当は折りたたみ傘を持って出かけていた私ですが、母の気持ちがうれしくて、「ありがとう。待っています。」と返信しました。

スライド 8

班ごとに発表する

①どのようなメッセージのやり取りになったか。

②どんなことを意識してメッセージを送ったのか。

スライド 9

SNSアンケート結果

SNS上のメッセージのやりとりにおいて、嬉しく感じたり、温かい気持ちになったりしたエピソードは？

スライド 10

誕生日に友達からおめでとうのメッセージが来た

体調が悪いときに学校が終わってから仲の良い友達に心配の言葉をかけてもらった

部活で落ち込んでいた時に色々な先輩から大丈夫!と言ってもらった

友達と面白いことで話せて楽しかった

自分がケガをしたとき、大丈夫?と心配してくれた

部活の試合が終わった後、友達がいつもお疲れと言ってくれる

遊んだ後、友達から今日楽しかったよありがとうと言われた

試合前に部活の先輩や後輩に応援してもらった

野球の試合で打った日に後輩からナイスバッティングでしたと言われた

塾の前にお母さんから今日のご飯はハンバーグだよと言われて元気が出た

< 終末 >

まとめ

相手の気持ちを想像しながら

メッセージを送ることで
 できる



〔ワークシート〕

「 メッセージを届けるために必要なことを考えよう」
()組()番 名前()

1 項ごとにメッセージを考えてみよう

送る相手

2 メッセージを送った感想

どんなことを意識してメッセージを送りましたか？

3 まとめ

相手の気持ちを想像しながら、 メッセージのやりとりを
することで、 できる

4 振り返り

今日の授業で大切に思ったこと、わかったことや考えたことなどを Google フォームに
入力しましょう。

MEMO

